

# 下田小だより

平成29年 6月15日 号  
文責 久留米市立下田小学校  
校長 平塚 宏子

## ～ 俳句とは、言葉を心で紡ぐもの ～

今年も、柳川在住の宮崎房子先生を招いて「俳句教室」を開きました。

宮崎先生は、西日本新聞の「子ども俳壇」の選者を約28年にわたり務められた方です。子ども達は、身の周りで心が動いたひとこまを自分の感性で切り取り、季語を含めた17音の言葉に託しました。子どもたちの素直な表現は、読む者の心にも伝わり、俳句を通して同じ世界観を共有する、豊かな時間になりました。

宮崎先生からは、子どもたちの作った俳句のよさを専門的な見地から褒めてくださいました。「俳句は頭ではなく、心で作るもの。言葉の知識だけではなく、子どもたちの心に優しさを育み、平和をもたらしてくれるものです。」と語られました。

「俳句教室」の最中に、「ここ下田は、弘法大師様ゆかりのエツの生息地域だから、今後、エツのことなども詠んでほしいですね。」とおっしゃったら、3年生の古賀かりんさんが、「先生、できました！」と、すかさず挙手しました。

その俳句は、「筑後川 すいすい泳ぐ エツの川」というものでした。宮崎先生は大絶賛され、一緒にいた教師や子どもたちも大きな拍手を送りました。一人ひとりの俳句を通して、日本語の美しさ、「ふるさとの宝」や子どもたちの豊かな感性にふれた素敵なおとときでした。

### 下田小・心の俳句

(1年から6年まで1句ずつ : 宏子 選)

- すいかはね 早くとるとね 中ピンク
- まんかいの さくらの下で おべんとう
- いちごがり まっ赤にみのり 食べほうだい
- 梅の花 しずくがのって 美しい
- あじさいの 上に小さな かたつむり
- 夏初め 家族総出で 田植えかな

## 地域の宝を学ぶ、ふるさと大好き下田っ子！

6月14日(水)に、3年生が江島利壽様の船に乗せていただき、えつ漁体験をしました。その体験を通して、風を切って走る船から見た白い波柱や網にかかったえつの光る腹を見るなど貴重な体験をすることができました。

今年、なんと、10匹もの大漁でした。地域の方々の温かい思いにふれながら、子どもたちは下田の宝をもっと知り、さらに好きになってほしいと思いました。

【地域の宝である「えつ漁」を体験させて頂いた3年生】

ご協力いただきました江島様や関係者の方々、ありがとうございました。



### 【7月予定】

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 3(月) 全校朝会、チャレンジタイム   | 14(金) 学期末大掃除 |
| 6(木) 誕生給食、ALT来校      | 18(火) 歌声タイム  |
| 7(金) 水泳記録会、学級分会      | 19(水) 音楽鑑賞会  |
| 11(火) 地域児童会、水泳記録会予備日 | スクールカウンセラー来校 |
| 13(木) 着衣水泳           | 20(木) 終業式    |

8月7日(月) 出校日・平和学習